

	<p>熊本大学 医学系分野</p>
<p>学部・研究科名</p>	<p>医学部（第1年次：115） ※医学科を記載。 医学教育部（生命科学研究部）（M：20 D：88） 発生医学研究所</p>
<p>沿革・設置目的</p>	<p>熊本藩再春館の流れを汲み、医学に関する教育・研究を行うことを目的に、熊本県立医学校、熊本県立医学専門学校、官立熊本医科大学を経て、昭和24年（1949年）熊本大学医学部として設置された。</p> <p>昭和14年（1939年） 体質医学研究所設置（平成21年（2009年）発生医学研究所に改組）</p> <p><u>昭和24年（1949年） 熊本大学設置と同時に医学部設置</u></p> <p>昭和30年（1955年） 大学院医学研究科設置（平成15年（2003年）に医学教育部、医学薬学研究部に改組。平成22年（2010年）に医学薬学研究部を生命科学研究部に改組。）</p> <p>平成16年（2004年） 国立大学法人に移行</p> <p>平成21年（2009年） 発生医学研究所が共同利用・共同研究拠点に認定</p>
<p>強みや特色などの役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 熊本大学の目的に基づき、地域と国際社会に貢献する指導的役割を担う医師や研究者の養成とともに、地域医療を担う総合医の養成を積極的に推進する。 ○ 国際的な教育研究拠点機能を活かした発生医学（発生制御、幹細胞、器官構築、臓器再建等）、エイズ学研究や、生命資源（遺伝子改変マウスの供給や遺伝情報データベースの構築等）の分野における研究を始めとする、基礎医学、臨床医学の各領域における研究の実績を活かし、先端的で特色ある研究を推進し、医学の発展及び新たな医療技術の開発や医療水準の向上を目指すとともに、次代を担う人材を育成する。 ○ 先進医療、移植医療の実績を活かし、高度・先進的な医療を積極的に展開するとともに、治験や橋渡し研究の推進により、先進医療技術の開発と治療への応用を目指す。 ○ 県内唯一の医育機関及び特定機能病院としての取組や都道府県がん診療連携拠点病院、総合周産期母子医療センター等としての取組を通じて、熊本県における地域医療の中核的役割を担う。